

明日2月10日(月)はいよいよ私学の入試です。多くの人が初めての入試となりますが、日頃の力が出せば心配はいりません。試験場の雰囲気のにまれないように、気持ちを落ち着かせて、自分の持てる力を十分に出してきてください。天候によっては冷え込むことがあるので、万全の防寒態勢で臨みましょう。公立単願の人も、受験方法は同じです。よく読んでおいてください。

私学受験最終チェック ～忘れ物は？ 時間の余裕は？～

(1) 今日(7日)家で

- ① 家に帰ったらすぐに下の表で持ち物と服装のチェックをしましょう。もし足りない物があったら、すぐに買いに行きましょう。夜遅くには買いに行けません。
- ② 上履きが必要な人は、体育館シューズを持ち帰ることを忘れないように。
- ③ もう一度入試要項を読み直し、持ち物や集合時刻を確認します。

項 目		チェック	
		8日夕	9日朝
持 ち 物	受験票		
	入試要項		
	鉛筆5～6本		
	消しゴム2個		
	コンパス・三角定規		
	鉛筆削り		
	下敷き		
	腕時計		
	上靴		
	下靴入れ		
	めがね		
	交通費 (円)		
	弁当		
	水筒(熱いお茶)		
	カイロ		

項 目		チェック	
		8日夕	9日朝
服 装	ボタン		
	名札		
	汚れ、ほつれ		
	防寒具		
雨具(必要なとき)			
集合時間 (:)			
交 通	目覚ましセット (:)		
	出発時刻 (:)		
	交通経路：自宅→ → → → 高校		
	電車・バス発車時刻 ____ 駅 (:)		
	入試要項の読み直し		

- ④ 8日の夕食はなるべく消化のよい物をいつも通りの時間にとり、温かいお風呂にゆっくり入って、早めに寝ましょう。緊張や興奮でなかなか寝付けないと思いますが、眠くなくても10時までには寝床に入るようにしましょう。

(2) 入試当日(10日) 家で

- ① 朝は余裕をもって起きましょう。
- ② 万一発熱など体調がよくないときでも、薬などを飲んでできるだけ受験しましょう。

受験しなければ合格できませんが、受験さえすれば力が出せなくても合格できるかもしれません。体調が良くないときは、朝、中学校に電話してください。中学校から保健室受験などの対応をお願いします。

どうしても受験できない場合は、まず中学校に連絡して指示を受けてください。

- ③ 高熱等インフルエンザの症状が出た場合は、できるだけ早く中学校に連絡してください。中学校から高校等へ連絡し、その後に対応をお知らせします。高校によって9日に別室で受験する場合と、後日追試が実施される場合があります。

いずれの場合も、高校等へは直接電話をしないようにしてください。

- ④ 朝食はなるべく取りましょう。いつも朝食抜きで、その方が体調がいい人は、いつも通りにしましょう。

- ⑤ もう一度受験票などの持ち物と服装を左の表でチェックしましょう。携帯電話等の不要物は持って行ってはいけません。



- ⑥ 集合時刻の20~30分前に到着できるよう、余裕を持って出発しましょう。2月9、10日は土曜・休日ダイヤになるので気を付けましょう。
- ⑦ 玄関で家の人に服装の点検をしてもらって、いざ出発！

(3) 受験校へ行く途中で

- ① 必ず電車、バスを使いましょう。自家用車、自転車、タクシーはなるべく使わないように。電車やバスが遅れた場合は試験時間をずらすなどの対応がなされますが、自家用車、自転車、タクシーの事故や渋滞は配慮されません。また遅れそうになって自転車を使う場合でも、道路に放置したりせず、必ず駐輪場に入れてください。毎年入試の日は、駅前の違法駐輪が多いので、重点的に取り締まり、回収を行うそうです。
- ② 同じ受験校の友だちと待ち合わせをしてもかまいませんが、遅れないように。また約束時刻に友だちが来なかった場合は、待たずに出発しましょう。
- ③ 帰りは一斉になるので券売機の混雑が予想されます。行きに往復切符を買っておくのも良いかもしれません。
- ④ 途中で電車の遅れなどトラブルが発生したら、できるだけすぐに中学校に連絡して

ください。中学校から高校に連絡して対応をお願いします。また遅れそうになってもあきらめず、とにかく受験校に行きましょう。高校等に行くことを優先してください。

- ⑤ 途中で忘れ物をしたことに気が付いても、とにかく高校へ行きましょう。忘れ物は配慮される場合がありますが、遅刻は配慮されません。

(4) 受験校で

- ① 集合方法は学校によって違います。要項、掲示物、放送などに注意し、わからないときは高校の担当の先生にたずねましょう。勝手な判断は禁物です。
- ② 受験票など忘れ物に気づいたり、トラブルがあった場合は担当の先生に申し出て指示を受けましょう。受験票がなくても申し出れば受験できます。できれば中学校にも連絡してください。中学校からも配慮をお願いします。
- ③ 発熱や気分が悪いときは、無理をせず担当の先生に申し出ましょう。別室受験など配慮してもらえる場合があります。
- ④ 教室に入ったらトイレの位置などを確認し、静かに心を落ち着かせておきましょう。落ち着かないときは、深呼吸をして、熱いお茶を一口！

(5) テスト開始

- ① 机に出せる物は、中学校の試験の場合とほぼ同じですが、要項や当日の指示に従ってください。コンパスや定規については学校によって違います。
- ② テストが配られても、指示があるまで表向けたり鉛筆を持ったりしてはいけません。
- ③ 「はじめ」の合図でまず受験番号と名前(受験番号のみの学校もある)を書き、枚数を確認してから始めましょう。
- ④ まず問題にざっと目を通し、やさしい問題から取りかかりましょう。あわてずに問題をよく読み、答え方(言葉か記号か等)や解答欄をまちがえないように。
- ⑤ 印刷のかすれなど、質問は黙って手を挙げ、監督の先生の指示に従ってください。質問したからといって減点されることはありません。
- ⑥ ものを落としたり、自分で拾わず手を挙げて監督の先生の指示に従ってください。
- ⑦ キョロキョロするなど不正行為と疑われるような行為はしないでください。
- ⑧ 難しい問題は、他の人にも難しい。焦らなくても大丈夫です。
- ⑨ 最後までできたら時間いっぱいまで見直しをしましょう。
- ⑩ 多くの学校では問題・解答用紙の両方とも回収されます。どちらにも落書きをしないように。裏に漫画を書いて不合格になった例があります。
- ⑪ 休憩時間も静かに落ち着いて。先生方が皆さんの様子を観察しています。

- ⑫ 全教科が終わるまで、他の人と答え合わせはしないように。人と違う答えだと不安になって次の教科に影響します。
- ⑬ あとで受験番号や名前を書き忘れたかもしれないと思ったら、すぐに担当の先生に申し出てください。申し出たことで不合格になることはありません。
- ⑭ 他校生とのトラブルは後輩の可否まで影響することがあります。からまれたら逃げる勇気を！ また自分たちだけで解決しようとせず、早めに高校の先生に連絡しましょう。
- ⑮ 携帯電話や不必要な物は、カバンの中に入れておくだけで不合格になる場合がありますので、決して持って行かないようにしてください。

(6) 面接

面接の有無、方法、日時は学校によって違います。要項や掲示、放送などで確認してください。面接の心得は「進路だよりN o. 10」に書いてあります。もう一度読み返しておきましょう。

(7) テスト終了

- ① テストが終わったら寄り道をせずにまっすぐ家に帰ってください。中学校へ登校する必要はありません。
- ② 下校の様子を観察している学校もあります。
最寄りの駅を出るまで気を抜かずに。



- (8) 10日は休日ですが、面接のある人は遅れずに行ってください。10日の交通機関は休日ダイヤで運行します。発車時刻はもちろん、停車駅等も異なる場合があります。よく調べておきましょう。10日も面接が終わったら、家へまっすぐ帰ってください。
- (9) 9日は朝7時から中学校に先生が待機しています。何かトラブルがあれば、すぐに電話で連絡してください。(06-6327-6760 または06-6328-8121)

- (10) 10日以降に可否通知が皆さんの家に届きます。万一不合格の場合はすぐに中学校に電話で知らせてください。中学校の電話は2回線しかありませんので、合格の場合は12日に担任の先生に知らせてください。

不合格の人が出るかもしれません。喜びは控えめにしましょう。

可否通知の郵便が配達されたときに不在の場合は「郵便物等ご不在連絡票」が投函されています。東淀川郵便局(電話番号は連絡票に記載)に午後7時までに電話すると、夜9時頃までに再配達されます。可否通知を受け取することを理由に中学校を休んではいけません。